

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和5年度
編入学 専門科目試験問題
(100点
60分)

千葉県立保健医療大学 健康科学部
看護学科

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、表紙を除き5頁である。
3. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
6. 不正行為に対しては厳正に対処する。

【問題1】以下の文章について、空欄1～25にあてはまる適切な語句を入れなさい。

解答は解答欄に記載しなさい。

1. 脳梗塞における画像診断において、発症直後はCTではほとんど異常がみられない。発症後24時間経過すると、虚血部位が（ 1 ）として黒く描出される。
2. 筋組織は、収縮性をもつ筋細胞からなり、生体の運動を担っている。更に3種類に分けられ、骨格に付属し身体を動かすための骨格筋、心臓を動かすための心筋、内臓や血管に存在する（ 2 ）である。
3. 更年期の女性は、（ 3 ）が低下することによって骨量の低下をもたらす。
4. 腰部脊柱管狭窄症は、腰椎の加齢による変性などによって脊柱管や椎間孔内外が狭窄し、（ 4 ）や神経根が圧迫され、症状を引き起こす。
5. 肉眼的血尿とは、多量の赤血球の混在により尿が赤～褐色調を呈するものであるが、尿1,000mL中に（ 5 ）mL以上の血液が混在すると肉眼的血尿となる。
6. 入浴介助において血圧が低下する危険なタイミングは浴槽から出た時であり、それまで身体にかかっていた（ 6 ）がなくなるためであり、静脈還流量が減少し、心拍出量も減少するために起こるもので、注意が必要である。
7. 医療事故とは、医療に関わる場所で医療の全過程において発生する人身事故すべてを包含する。これに対して医療過誤とは、医療事故の発生原因に医療機関、医療従事者の（ 7 ）がある場合をいう。
8. （ 8 ）とは、同じ問題や疾患・障害を持つ仲間同士による相互支援活動のことであり、その活動を通して自身の回復も促進される。
9. 閉塞性換気障害の診断基準は、肺機能検査（スパイロメトリー）において1秒率（ 9 ）%以下、かつ%肺活量（ 10 ）%以上である
10. 看護小規模多機能型居宅介護は、小規模多機能型居宅介護と（ 11 ）が組み合わせられるようになり、複合型サービスとして定められている。
11. 複数の薬物を併用した場合に、薬効が減弱あるいは増強される作用を薬物（ 12 ）という。
12. 直径1cmから3cm程度までの限局した充実性の皮膚の隆起を（ 13 ）という。
13. HbA1c（ヘモグロビンA1c）の糖尿病診断基準は（ 14 ）%以上である。

14. 介護療養型医療施設（療養病床）の廃止に伴い、平成 31 年に長期療養が必要な慢性の疾患をもつ要介護者を対象とした（ 15 ）が新設された。この施設の 1 室当たりの定員は（ 16 ）名以下である。
15. 障害者を特別視せず、健常者と同じように積極的に社会に参加し、ともに生活していくべきという考え方を（ 17 ）という。
16. 日本の人口静態統計のもとになる調査は（ 18 ）である。
17. 受動喫煙の防止対策を規定している法律は（ 19 ）である。
18. 養護者による虐待を受けたと思われる高齢者を発見した者が、高齢者虐待防止法に基づき通報する先は（ 20 ）である。
19. 3 ～4 歳ごろに盛んになり、物を何かに見立てたり、ある役になりきったりする遊び方を（ 21 ）遊びという。
20. 分娩直後から産褥 7～10 日にかけて出現し、軽度のうつ、疲労感、落胆、注意散漫などの一過性の精神症状を（ 22 ）という。
21. 結核は（ 23 ）類感染症であり、この患者を診断した医師はただちに最寄りの保健所長に届け出なくてはならない。
22. 事業場における労働者の健康保持増進のための指針に基づき、労働者の心身両面にわたる健康づくりを推進するための取組を（ 24 ）という。
23. 4 大公害病の一つである水俣病の原因物質は（ 25 ）である。

【問題 2】以下の事例を読み、問いに答えなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

A さん（76 歳 女性）は、弁膜症とアミロイドーシスを指摘され定期的に通院をしているが、薬の飲み忘れなど自己管理がうまくいかず何度か入退院を繰り返している。一人暮らしだが、近所に長女の家族が住んでいて様子を見に来ている。2 週間ほど前から夜間の呼吸困難、食欲不振が出現し加療目的で入院となった。入院時の所見は身長 158 cm、体重 68 kg（1 週間で 3 kg 増加）血圧 106/74 mmHg、脈拍 95 /分、呼吸数 25 /分、SpO₂ 93%、両肺下葉に粗い断続性副雑音、頸静脈軽度怒張、下腿中等度浮腫であった。A さんは四肢の冷感と腹部膨満感及び不安感が強く、不眠を訴えている。

問 1 A さんは左心不全から右心不全を併発した両心不全と診断された。事例に示した情報から右心不全の徴候と考えられるものを 3 つ記載しなさい。

問 2 入院後 3 日目、A さんはベッドから起き上がる際に疲労感や動悸を訴えた。これは NYHA（New York Heart Association）心機能分類の何度に相当するか記載しなさい。

問 3 入院後 20 日目、病状が安定したため自宅退院の方針となった。看護師が行う退院指導で、適切なことを 2 つ記載しなさい。

【問題3】以下の事例を読み、問いに答えなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

Bさん（75歳、男性）は喫煙歴があり、3年前に慢性閉塞性肺疾患（COPD）と診断された。一人暮らしだが通院を継続し在宅療養をしていた。2日前より咳と痰が増え、外来受診時に呼吸苦の増強を認めため入院となった。入院後は2L/分の酸素投与により呼吸状態は安定している。

問1 慢性的に高二酸化炭素血症状態にある慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者に高濃度酸素を投与してはいけない理由について記載しなさい。

問2 Bさんは一人暮らしのため食事は朝と昼は兼用の1日2回で、食後に息苦しくなることがあると話している。看護師としてBさんの食事についてどのような助言をしますか？助言内容とその理由を簡潔に記載しなさい

問3 2L/分の酸素投与で、500L酸素ボンベ（最高充填圧力14.7MPa）を用いて食堂に移動した。現在酸素ボンベの圧力計は5MPaを示している。酸素ボンベの使用可能時間を求めなさい。ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

問4 呼吸器系のフィジカルアセスメントを行う場合、以下の①から⑤を、実施する順番に並べなさい。

- ① 聴診 ② 触診 ③ 視診 ④ 問診 ⑤ 打診

【問題 4】大規模地震発生後に関する以下の文章を読み、問いに答えなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

問 1 発災の翌日、避難所の駐車場には多くの車が停まっており、車中で避難をしている人が大勢いた。車中泊避難をしている人に留意すべき疾患とその予防方法を 2 つ、簡潔に記載しなさい。

問 2 発災から 2 週間後、避難者の中で、悪夢にうなされる人や災害時の光景がよみがえる恐怖（フラッシュバック）を訴える人が増えてきた。この人たちに考えられる診断名と看護師がとるべき対応方法を 2 つ、簡潔に記載しなさい。